

【別添資料】

復興大学災害ボランティアステーション主催企画 「ORAGA 鳴子の熱帯植物園」復旧ボランティア及び再生プランニングプロジェクト (提案資料)

○立案の経緯・趣旨

復興大学災害ボランティアステーションでは、同大学地域復興支援ワンストップサービス事業からの依頼にもとづき、平成 24 年度から東日本大震災及びその後の自然災害（強風など）により被災した温泉旅館「琢秀」に隣接する植物園の瓦礫撤去、花壇作りなどのボランティア活動を実施してきた。約 1 年間の継続的な活動の成果として瓦礫撤去について一定程度の処理が完了した状況であるが、今後残された処理及び植物園の再生の初期段階である花壇作りを行う必要が生じている。

また、温泉旅館「琢秀」では、当該植物園の今後の活用について、一企業の利益ではなく、地域全体の活性化という公共的な意味合いを強めたいという意向であり、「どのような植物園として再生させることが望ましいのか」について、ボランティア活動を行った学生からプランニングの提案を受けたいという連絡があった。

復興大学災害ボランティアステーションとしては、単なる活動にとどまらない、現場での生きた教育的側面を強く含んだボランティア活動として実施することを提案する。

○プロジェクトの到達目標

当該プロジェクトでは、ボランティア活動を単なる活動とせず、活動を通じた現地の歴史、風土などの学びから課題を把握し、植物園というツールを用いて、地域の活性化を目指すという再生プランニングの提案を行う。

この活動を通じて、学生に①地域の特色・特徴を把握する能力、②地域の課題を発見する能力、③②の課題解決に向けたプランを策定する能力を身につけることを目標とする。

なお、当該プロジェクトの特徴としては、限定された条件下（植物園を活用する）でのプラン策定ということで、学生の成長が一層見込まれることが挙げられる。

○活動期間

- ・平成 25（2013）年 6 月から 7 月までの 2 カ月間

○活動場所

- ・ORAGA 鳴子の熱帯植物園（住所 大崎市鳴子温泉字星沼 20-12）
- ※宿泊場所として「中山平温泉 うなぎの湯 琢秀（住所 大崎市鳴子温泉星沼 20-9／TEL：0229-87-2216）」を提供いただいている（食費・宿泊費とも無料）。

○活動参加条件

- ・活動はチーム制での参加とし、1チームあたり4名～6名程とする。

○活動方法

①プロジェクト説明会の開催【6月7日（金）実施済み】

- ・概要詳細や事務手続きの説明を行い、参加学生を募集する。
- ・当日参加できない場合には、後日個別説明会を実施する。

②現地での活動【6月から7月】

- ・大学生がチームを形成し、現地での活動1回以上を行う（日帰り、宿泊は問わない）。
- ・現地での活動中には地域の歴史、風土などの学びや現地の方が抱えている課題などの教育的プログラムを実施する。
- ・ボランティア活動と並行し、プラン策定に必要な現地調査などを行う。

③プランの策定【6月から7月】

- ・現地での活動後にチームごとに植物園の再生プランを策定する。

④プランの発表について【7月下旬を予定】

- ・本学を会場に各チームが策定したプランの発表を行う。
- ・現地の方にも参加していただき、各チームが策定したプランについて聴講していただく予定。

○備考

- ・プラン策定にあたり東北学院大学経営学部教員がアドバイザーとして関与する。
- ・プラン策定のために学生に対する補助金等はない。
- ・ボランティア保険は、学都仙台コンソーシアム加盟大学の学生・教職員については、復興大学災害ボランティアステーションで加入手続きを行う（加盟大学以外の学生・

教職員については、各自で加入することとする。)

- ・現地で宿泊を伴って活動を行う場合、当該植物園に隣接する旅館（うなぎの湯 琢秀）を使用できる（食費・宿泊費とも無料）。

問い合わせ先

東北学院大学 学長室事務課 其田（そのだ）宛

TEL 022-264-6424 FAX 022-264-6364

E-Mail sonodam@staff.tohoku-gakuin.ac.jp